



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2020年2月13日

上場会社名 ぴあ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4337 URL <https://corporate.pia.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢内 廣
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレート統括 (氏名) 吉澤 保幸 TEL 03-5774-5278
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	128,012	△5.9	642	△45.4	662	△42.1	308	△58.3
2019年3月期第3四半期	135,984	9.1	1,175	23.1	1,143	19.0	739	26.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 337百万円 (△55.3%) 2019年3月期第3四半期 755百万円 (25.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	22.61	—
2019年3月期第3四半期	53.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	52,716	6,234	11.7	453.02
2019年3月期	62,699	6,601	10.4	475.36

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 6,166百万円 2019年3月期 6,513百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	20.00	20.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	—	1,450	5.2	1,400	3.9	820	0.2	59.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、決算短信（添付資料）7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	14,657,613株	2019年3月期	14,657,613株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,045,209株	2019年3月期	955,609株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	13,625,085株	2019年3月期3Q	13,873,493株

(注) 株主資本において自己株式として計上されている株式給付信託（BBT）が保有する当社株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により、緩やかな回復基調で推移しているものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動などから、依然として先行き不透明な状況が続いております。当社が事業基盤とする国内レジャー・エンタテインメント市場におきましては、“コト消費”ニーズの高まりに加えて、当社がチケット販売業務を受託したラグビーW杯日本大会の歴史的成功、本番が近付く2020東京オリンピック・パラリンピックへの期待感もあって、近年の増加トレンドを維持し堅調に推移しております。

このような状況下、中期経営計画の2年目にあたる、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、概ね当初の想定通りに進捗しております。前年同期比では、音楽ジャンルを中心に大規模興行の取扱いが減少したこと、前年にはなかった新規事業の立ち上げ経費の計上等により、売上高・営業利益とも前年同期を下回る水準となりました。

以上の結果、当社グループの第3四半期の業績は、連結売上高1,280億12百万円(対前年同期比94.1%)、営業利益6億42百万円(同54.6%)、経常利益6億62百万円(同57.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億8百万円(同41.7%)となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

<イベント>

- ・プロ野球
- ・サッカーJリーグ
- ・「PIA MUSIC COMPLEX 2019」
- ・「S20 JAPAN SONGKRAN MUSIC FESTIVAL 2019」
- ・「THE YELLOW MONKEY」
- ・「ROCK IN JAPAN FES. 2019」
- ・「UVERworld」
- ・「ONE OK ROCK」
- ・「KISS」
- ・「U2」
- ・「福山雅治」
- ・「Perfume」
- ・「WANIMA」
- ・「ARASHI Anniversary Tour5×20」

<商品>

- ・「夏びあ」「秋びあ」「冬びあ」(首都圏版/関西版/東海版)
- ・「ラグビーびあ」
- ・「びあ東京2020観戦予習ガイド」

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、527億16百万円となり、前連結会計年度末と比較して99億83百万円減少いたしました。流動資産は368億95百万円(前連結会計年度末比129億55百万円減)となりました。変動の主なものは、現金及び預金の減少(同85億9百万円)、受取手形及び売掛金の減少(同42億68百万円)であります。また、固定資産は158億21百万円(前連結会計年度末比29億72百万円増)となりました。変動の主なものは、アリーナ建設関連費用並びにソフトウェアの取得によるものです。

負債は、464億82百万円となり、前連結会計年度末と比較して96億15百万円減少いたしました。流動負債は411億10百万円(前連結会計年度末比115億4百万円減)となりました。変動の主なものは、買掛金の減少(同85億94百万円)、預り金の減少(25億13百万円)であります。固定負債は53億72百万円(前連結会計年度末比18億89百万円増)となりました。変動の主なものは、長期借入金が増加(同19億円)であります。

純資産は、62億34百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億67百万円減少いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益3億8百万円の計上と配当金1億82百万円の支払いによる減少等により利益剰余金が43百万円増加したこと、自己株式の取得4億27百万円の支出により減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、前回公表の予想数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,206	16,697
売掛金	20,759	16,490
商品及び製品	167	108
仕掛品	0	3
原材料及び貯蔵品	9	10
その他	3,764	3,634
貸倒引当金	△58	△49
流動資産合計	49,850	36,895
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	68	61
工具、器具及び備品 (純額)	272	201
土地	6	6
建設仮勘定	4,087	7,203
有形固定資産合計	4,435	7,473
無形固定資産		
ソフトウェア	3,452	4,126
ソフトウェア仮勘定	1,005	390
その他	59	59
無形固定資産合計	4,517	4,576
投資その他の資産		
投資有価証券	845	787
その他	3,425	3,375
貸倒引当金	△374	△390
投資その他の資産合計	3,895	3,771
固定資産合計	12,848	15,821
資産合計	62,699	52,716

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,260	30,665
未払金	2,558	4,483
未払法人税等	745	16
賞与引当金	420	2
返品調整引当金	426	248
預り金	4,022	1,508
その他	5,180	4,185
流動負債合計	52,614	41,110
固定負債		
長期借入金	2,850	4,750
退職給付に係る負債	99	92
資産除去債務	71	71
株式給付引当金	111	108
その他	351	350
固定負債合計	3,483	5,372
負債合計	56,098	46,482
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,924	4,924
資本剰余金	1,105	1,121
利益剰余金	4,431	4,475
自己株式	△3,904	△4,331
株主資本合計	6,557	6,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	23
為替換算調整勘定	△66	△50
退職給付に係る調整累計額	△2	4
その他の包括利益累計額合計	△44	△22
非支配株主持分	88	67
純資産合計	6,601	6,234
負債純資産合計	62,699	52,716

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	135,984	128,012
売上原価	125,238	117,747
売上総利益	10,746	10,264
返品調整引当金戻入額	562	426
返品調整引当金繰入額	316	248
差引売上総利益	10,992	10,442
販売費及び一般管理費	9,816	9,800
営業利益	1,175	642
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	9
諸債務整理益	3	22
持分法による投資利益	27	10
その他	2	3
営業外収益合計	41	46
営業外費用		
支払利息	2	13
支払手数料	51	7
その他	21	5
営業外費用合計	74	26
経常利益	1,143	662
特別損失		
投資有価証券評価損	—	99
為替換算調整勘定取崩損	—	33
特別損失合計	—	133
税金等調整前四半期純利益	1,143	529
法人税等	390	212
四半期純利益	752	316
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	739	308

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	752	316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△1
為替換算調整勘定	△0	18
退職給付に係る調整額	9	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△2
その他の包括利益合計	3	21
四半期包括利益	755	337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	743	329
非支配株主に係る四半期包括利益	12	8

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2018年4月1日至2018年12月31日）

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年12月31日）

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。